青空文庫 (6)「源氏物語」桐壺 (21) 紫式部 與謝野晶子訳

月　日　名前

見ながら練習

なぞって練習

まもそたあるときはどうしてながはず通れてあっの合わせ路をなくれぬ廊下をを通り錠がさ壺

もそこをの時ねどうしてさんで

たまたあるはずかしめの御殿のちに、ねばうなくがさんで

※辱しめ【はずかしめ】: 青空文庫のフリガナより
※量んで【かさんで】: 青空文庫のフリガナより

copyright (c) まる字の無料ペン字練習と漢字検定テキスト集 all right reserved.